



あなたの会社は大丈夫？ マスコミはこう聞き、こう書く！ 規制と緩和に揺らぐ健康食品業界の盲点 危機管理の道しるべはコレだ!!

機能性表示食品制度が施行されて1年余り。受理品目は300を超え、一部の大手企業の商品は売上を大きく伸ばしています。中小企業でも、届出受理で企業イメージがアップし、その他の商品の売上を後押しする動きが見られます。一方、消費者庁には消費者団体や事業者などから多くの疑義や申し入れが行われ、受理撤回に至る商品が出ています。

このようななか、消費者庁による「グレーゾーン解消」への動きは加速しています。新制度の施行にともない、関連法規の見直しが行われ、規制対象適用者に「インターネット媒体社」が明記されるなど、様々なステージでグレーゾーン排除の動きが表面化しています。

データ・マックスは7月25日、健康食品事業者・食品関係者に向けて「コンプライアンス緊急セミナー」を開催します。企業の危機管理はどうあるべきか？そもそも危機管理とは何か？いざブラックという審判を行政に下されたときに企業は周囲に対してどう向き合うべきなのか？東京都知事の辞職問題に象徴されるように、マスコミへの対応のまずさが自らを窮地に追い込んだ事例は枚挙にいとまがありません。また、そうならないための正しいリーガルマーケティング(脱法ではない)の知識も身に付ける必要があります。

健康食品業界をよく知る毎日新聞社の編集委員・小島正美氏と、食品・医薬品・工業製品を通じてリスク&サイエンスコミュニケーションに詳しい東京・中日新聞の編集委員・引野肇氏、さらにリーガルマーケティングの正道を行くコンサルタントの稲留万希子氏をお招きし、豊富な事例を通して危機管理の道しるべを示します。基調講演では、早稲田大学の矢澤一良先生に、機能性表示食品制度にトライする企業に求められる条件を語って頂きます。

講演内容

基調講演

「新制度に向き合う企業姿勢のあり方を問う」

早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 規範科学総合研究所ヘルスフード科学部門 研究院教授 矢澤 一良 氏

第1部

リーガルマーケティング講座「その表現大丈夫?!健康食品・機能性表示食品広告の落とし穴」

薬事法広告研究所 代表 稲留 万希子 氏

第2部

メディア&サイエンスリテラシー講座「健康食品の規制とマスコミ対応」

毎日新聞社 編集委員 小島 正美 氏

メディア&サイエンスリテラシー講座「感情的・非科学的なメディアに対し、あくまでも冷静に科学で対抗せよ」

東京・中日新聞 編集委員 引野 肇 氏

日時

2016年7月25日(月)

13:00~18:30(開場12時30分)

セミナー終了後、懇親会あり(希望者のみ)

場所

主婦会館プラザエフ B2Fクラルテ

(東京都千代田区六番町15番地 TEL:03-3265-8111)

※東京メトロ南北線四谷駅、丸の内線四谷駅、JR中央線四谷駅から徒歩

募集人数

80名様限定

※お申込み受付後、ご請求書を郵送いたしますので開催前日までに
お振込みください。開催当日、会場での現金の受け渡しはご遠慮致します。

受講料

一般8,000円(税込)

ヘルスケアI.B会員は4,000円/
懇親会費は別途5,000円が必要です

お申し込みは下記にご記入の上



03-6908-1655

までお送りください

御社名		部署名	
御芳名		役職名	
御住所		参加人数	
御連絡先	TEL	FAX	E-mail

一般(税込8,000円) 会員様(同4,000円) ※どちらかにを入れてください。 懇親会に参加する

お問い合わせ先:(株)データ・マックス 東京支店 ヘルスケア事業部 03-6908-1651